

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	712	施策	就労と働きやすい環境づくりへの支援
管理事業	勤労者会館事業	所管部局	都市魅力部

1	所管 室課	地域経済振興室	事業名	勤労者会館管理事業			
事業概要							
勤労者会館管理（指定管理者施設管理）							
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
・勤労者会館会議室研修室等 令和3年度 利用件数 2,121件 令和4年度 利用件数 4,311件 令和5年度 利用件数 4,981件 ・プール 令和3年度 利用人数 12,788人・・・72.7人／日 令和4年度 利用人数 30,617人・・・103.1人／日 令和5年度 利用人数 33,014人・・・107.5人／日 令和5年3月に、他の市内公共施設と同様の「公共施設予約システム」を導入し、利用者の利便性が向上した。 勤労者を主たる対象として、夜間の弁護士による法律相談を年16回実施し、のべ60人が参加した。 排水管等の修繕を実施し、施設の維持管理に努めている。			会議室等の貸室や屋内プールに一般財源の比率(%)	710,377	113,627	108,394	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割
			52.4	87.1	85.1	□ 有効性 □ 効率性 □ 公平性 ■ 持続可能性	
			事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画の方向性・内容	
			会議室等の貸室や屋内プールについては、勤労者の福祉の増進を図るとともに幅広い層に利用されていることから、指定管理者との連携を深め、利用ニーズに合った事業を実施していく必要がある。また、安定的な施設運営のためにも、計画的な維持補修により施設の長寿命化を図る必要がある。	継続			

	所管 室課		事業名				
事業概要							
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
			決算額 (千円)				※課題があるものは■ □ 市民ニーズ、社会的役割 □ 有効性 □ 効率性 □ 公平性 □ 持続可能性
			一般財源 の 比率(%)				
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				
						今後の実施計画 の方向性・内容	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	712	施策	就労と働きやすい環境づくりへの支援
管理事業	勤労者福祉共済事業	所管部局	都市魅力部

1	所管 室課	地域経済振興室	事業名	勤労者福祉共済システム事業			
事業概要							
勤労者福祉共済システム管理							
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
勤労者福祉共済にかかる会員情報管理や掛金徴収、福利事業や給付事業など、業務全般の情報管理を担う「勤労者福祉共済システム」を賃貸借し、必要な保守及び更新を行う。			決算額 (千円)	1,107	1,572	1,572	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	0.0	0.0	0.0	☐ 有効性 ■ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ■ 持続可能性	
			キャッシュレス対応を含めた収納方法 について、効率化や費用対効果の観点を 踏まえて検討し、より機能的なシステム 運営を目指す。			今後の実施計画 の方向性・内容	
継続							

2	所管 室課	地域経済振興室	事業名	勤労者福祉共済事業			
事業概要							
勤労者福祉共済給付、勤労者福祉共済福利							
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
福祉共済事業の利用件数 令和3年度 3,417件（内訳：給付事業611件、福利事業2,806件） 令和4年度 6,008件（内訳：給付事業759件、福利事業5,249件） 令和5年度 7,302件（内訳：給付事業756件、福利事業6,546件）			決算額 （千円）	19,544	23,693	23,528	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	0.0	0.0	0.0	☐ 有効性 ☐ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				☐ 公平性 ■ 持続可能性
			廃業等の理由により、加入事業所数が 減少傾向にある。加入事業所数を増加さ せるため、本制度の魅力についてプッ シュ型による周知を行うなど、加入促進 の取組を進める必要がある。				今後の実施計画 の方向性・内容
							継続

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	712	施策	就労と働きやすい環境づくりへの支援
管理事業	勤労者福祉共済事業	所管部局	都市魅力部

3	所管 室課	地域経済振興室	事業名	勤労者福祉共済基金積立事業		
事業概要						
勤労者福祉共済基金積立						
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
給付金の支払に要する財源に不足を生じたときの資金を積み立てることを目的に、吹田市勤労者福祉共済基金条例第2条のとおり、毎年度当該特別会計において生じた剰余金の範囲内で、同会計歳入歳出予算に計上する。		決算額 (千円)	8,891	5,364	3,183	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率(%)	0.0	0.0	0.0	☐ 有効性 ☐ 効率性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☒ 持続可能性	
		各年度における財源確保の観点のみで はなく、福祉共済解散時における退会せ ん別金給付に対する財源確保等の観点も 踏まえ、一定以上の備えをしておく必要 がある。			今後の実施計画 の方向性・内容	
						継続

	所管 室課		事業名			
事業概要						
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
		決算額 (千円)				※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率(%)				☐ 有効性 ☐ 効率性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
					今後の実施計画 の方向性・内容	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	712	施策	就労と働きやすい環境づくりへの支援
管理事業	労働事業	所管部局	都市魅力部

1	所管 室課	地域経済振興室	事業名	労働行政事務事業			
事業概要							
労働相談、特定退職金共済補助、啓発、労働事情調査							
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
(1) 労働相談件数 令和3年度89件 令和4年度91件 令和5年度91件 (2) 特定退職金共済制度 ・加入事業所数 令和3年度183事業所 令和4年度189事業所 令和5年度181事業所 ・被共済者数 令和3年度1,677人 令和4年度1,685人 令和5年度1,641人 ・補助金交付額： 令和3年度1,276,320円 令和4年度1,272,880円 令和5年度1,258,800円 (3) 啓発セミナー ・みんなで学ぶワークルールセミナー参加人数（4市1町） 令和3年度82人 令和4年度31人 令和5年度38人 ・労働法啓発セミナー 令和3年度未実施 令和4年度10人 令和5年度116人 ・社会保険のいろは： 令和3年度21人 令和4年度10人 令和5年度21人 (4) 啓発冊子発行部数 ・ほっとわーくにゅーす 令和3年度6,000部 令和4年度6,000部 令和5年度6,000部			決算額 (千円)	2,468	2,189	2,197	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割 ■ 有効性 □ 効率性 □ 公平性 □ 持続可能性
			一般財源 の 比率(%)	100.0	100.0	100.0	
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
労働問題について市民や事業主が相談 できる環境を提供するため、令和6年度 実施予定の労働事情調査の情報等を含 め、ニーズを的確に把握しながら事業を 推進していく必要がある。 また、働き方改革関連法をはじめ、労 働に関する知識や考え方などについて も、中・長期的に事業者や労働者に浸透 していくよう、引き続き効果的な啓発に 取り組んでいく必要がある。				継続			

2	所管 室課	地域経済振興室	事業名	地域就労支援事業			
事業概要							
地域就労支援							
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
(1) JOBナビすいたの利用状況 障がい者やひとり親家庭等の就職困難者を含む求職者に対し、就労相談や職業紹介を実施するほか、就職支援講座や面接会などを行っている。 ・来所者数：3,587人 ・就職決定者数：206人 ・介護職員初任者研修講座修了人数：8人 ・ビジネスパソコン講座修了人数：14人 ・CAD利用技術者講座修了人数：2人 (2) 就労体験実施状況 ・受入協力企業数：15社 ・体験者数：6人			決算額 (千円)	46,460	32,009	36,438	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	87.3	84.6	83.8	■ 有効性 □ 効率性 □ 公平性 □ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				
			新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う行動制限の廃止により、来所者数が回復し、セミナーや面接会等を多数実施したことから、就職決定者数の増加に繋がった。今後も就職困難者に対する支援内容の充実化、関係機関との連携強化等により、きめ細やかな就労支援に取り組む必要がある。			今後の実施計画 の方向性・内容	
							継続

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名